

道徳科学習指導案

日 時	令和 5 年 2 月 3 日(金) 5 校時 13:00～13:45
学校名	千代田区立富士見小学校
対 象	第 2 学年 3 組 33 名
会 場	2 年 3 組 教 室
授業者	主任教諭 宮 田 宏 奈

1 主題名

すなおな気持ちで A [正直、誠実]

2 ねらいと教材

(1) ねらい

コロナの気持ちの変化を考えるを通して、素直な心で生活しようとする心情を育てる。

(2) 教材 「お月さまとコロナ」 (出典：文部省「小学校道徳の指導資料とその利用 2」1977 年)

3 主題設定の理由

本主題は、小学校学習指導要領(平成 29 年 3 月告示)

第 3 章 特別の教科 道徳 第 2 内容

A 主として自分自身に関すること [正直、誠実]

[第 1 学年及び第 2 学年]

うそをついたりごまかしたりしないで、素直に伸び伸びと生活すること。

を受けて設定した。

(1) ねらいとする道徳的価値について

正直とは、うそ偽りがなく心がけが正しいこと、素直な気持ちを伝えることである。

過ちや失敗をした時に、うそを言ったりごまかしたりすると、他者の信頼を失うばかりか、自分自身の中に後悔や自責の念、良心の呵責などが生じる。自己の非を認め、受けとめることで、自分自身に正直、誠実でいられる。また、自分の気持ちを隠したり、自分の気持ちとは異なる行動をしたりすると、わだかまりが残り、心が晴れない。他者と信頼関係を築き、明るく健やかに生活するためには、自分の気持ちに素直になることが大切である。

2 年生の児童は、自分自身の言動を他者から叱られたくないという気持ちから、うそを言ったりごまかしたりすることがある。自分の非を認めて、正直であろうとする心情を育てていきたい。また、自分の気持ちの伝え方が分からず、意地を張り天邪鬼な行動をとることがある。素直な気持ちでいることで、友達と仲良くなれることや、心が晴れやかになり、明るく楽しく生活ができることに気付かせたい。

(2) 児童の実態について

本学級では友達と関わりたいという気持ちを素直に伝えるのではなく、ちょっかいを出して関わろうとし、トラブルになってしまうこともある。自分の非を認めるまで時間が掛かることもあるが、一緒に活動したいというお互いの気持ちを伝え合うことで、その後は仲良く過ごせることが多い。

1 月の道徳科「ねこがわらった時」(A 正直、誠実)の学習では、嘘やごまかしをしない正直な在り方について考え、自分自身に正直であることの大切さに気付くことができた。

本時の学習では、主人公が謝りたいのに素直になれずもやもやする気持ちから、素直に謝ろうという気持ちに変化したことに共感しながら考えることで、友達とより仲良くなるため、自分らしく伸び伸びと生活するためには、自分の気持ちに素直になることが大切であると気付かせたい。また、自分自身の経験を見つめ直すことで、素直な気持ちでいようとする心情を育てたい。

そこで、自分自身の経験を見つめ直すために、素直な気持ちで行動できた経験や素直な気持ちで行動できなかった経験についてアンケートを行った。児童にはけんかしたときに素直に謝ることができた経験やできなかった経験、素直にお礼を言えた経験や言えなかった経験があった。

(3) 教材について

【教材の概要】

わがままで素直になれないこおろぎのコロナはたった一人の友達のギロともけんかをしてしまう。謝るかどうか迷うコロナは、お月さまのアドバイスで自分の素直で正直な気持ちに気づき、ギロに謝ろうと決心する。

【教材文活用の視点】

本教材は主人公のコロの気持ちの変化を捉えやすい教材である。また、素直に謝ることができないという場面は多くの児童が経験したことがあり、コロの「自分の非は分かっているが、素直に謝ることができない気持ち」から、「素直に謝ろうと思った気持ち」への変化を共感しながら考えることができる。絵カードやポジショニングを活用してコロの気持ちの変化を捉えさせ、ねらいにせまりたい。

【教材分析表】

A 場面とその概要	B コロの内面	C 発問 (○基本発問 ◎中心発問)
① 1L～4L コロの紹介。	<ul style="list-style-type: none"> ・わがまま ・思い通りにならないと怒る。 	
② 5L～6L コロの友達にギロ一人だけ。	<ul style="list-style-type: none"> ・ギロくんがいればいい。 ・友達なんていない。 ・寂しい。 	
③ 7L～9L ギロがコロを東の畑に誘う。	<ul style="list-style-type: none"> ・またギロくんが来た。 ・誘われて嬉しい。 ・行こうかな。 	
④ 10L～14L コロはギロの誘いを断る。	<ul style="list-style-type: none"> ・行ってみようかな。 ・行きたいなんて言えない。 ・恥ずかしい。 	
⑤ 15L～17L 次の日、ギロがコロを西の河原に誘う。	<ul style="list-style-type: none"> ・またギロくんが来た。 ・誘われて嬉しい。 ・行こうかな。 	
⑥ 18L～21L コロはギロの誘いを断る。	<ul style="list-style-type: none"> ・行ってみようかな。 ・行きたいなんて言えない。 ・恥ずかしい。 	
⑦ 22L～26L 次の日、ギロが歌を教えてくれる。	<ul style="list-style-type: none"> ・今日もギロくんが来た。 ・楽しい歌だな。 ・嬉しいな。 	
⑧ 27L～28L コロは「そんな歌気持ちが悪 い。」と言う。	<ul style="list-style-type: none"> ・「おもしろいね」なんて言えない。 ・うまく言えない。 	
⑨ 29L～31L ギロが怒って帰ってしまう。	<ul style="list-style-type: none"> ・またやってしまった。 ・ギロくんまで怒らせちゃった。 ・どうしよう。 	
⑩ 32L～34L コロは謝らなければと思うが言 えない。	<ul style="list-style-type: none"> ・早く謝らなくちゃ。 ・言えない。 ・どうしよう。 	
⑪ 35L～37L コロの心が「あやまるんだ。」 「あやまらなくてもいいんだ。」 と葛藤する。	<ul style="list-style-type: none"> ・あやまって仲直りしたい。 ・許してくれるかな。 ・自分から謝るなんてできない。 ・何であのくらいで怒るのだよ。 	○「あやまるんだ。」「あやまらなくていいんだ。」とふたつの心が戦っている時のコロを役割演技しましょう。
⑫ 38L コロは決められずにイライラし てくる。	<ul style="list-style-type: none"> ・どうすればいいのだ。 ・なんでこんなことになったのだ。 	
⑬ 39L～42L コロはだんごむしの兄弟にギロ のことを聞かれる。	<ul style="list-style-type: none"> ・何でそんなこと聞くのだ。 ・ほっといてくれ。 	
⑭ 43L～46L コロはだんごむしをつきとば す。	<ul style="list-style-type: none"> ・うるさい。 ・ほっといてくれ。 ・むかつく。 ・やってしまった。 	
⑮ 47L～48L コロは自分のことが嫌になる。	<ul style="list-style-type: none"> ・ぼくはダメなコオロギだ。 ・またやってしまった。 ・ギロにもだんごむしにも意地悪してしまっただ。 	
⑯ 49L～51L お月様が優しくコロに話し掛 ける。	<ul style="list-style-type: none"> ・なんだろう。 ・優しいな。 	
⑰ 52L～56L コロが自分の悲しそうな顔に気 付く。	<ul style="list-style-type: none"> ・ぼくはこんなに悲しかったのか。 ・今まで自分の気持ちに気付かなか。 	○暗く沈んだ悲しそうな自分の顔を見てコロはどう思ったでしょう。

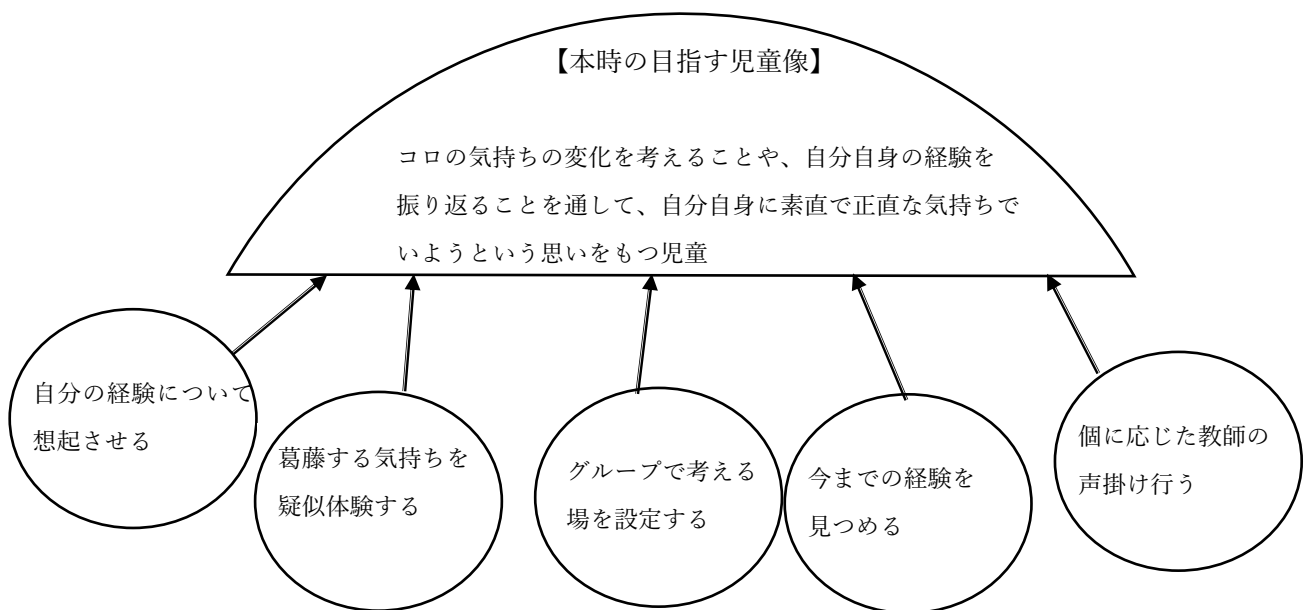
	かった。	
⑱57L～59L コロはお月さまにわらってごらんと 言われる	<ul style="list-style-type: none"> ・ どうしてだろう。 ・ 笑えるかな。 ・ 恥ずかしいな。 	
⑲60L～64L コロはお月様に言われて歌う。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 恥ずかしいな。 ・ 歌えるかな。 ・ 少し元気が出てきた気がする。 	
⑳65L～67L コロの心が晴れ晴れとしてくる。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 素直な気持ちでいればいいの か。 ・ いい気持ちだな。 	
㉑68L～71L コロは明日ギロにあやまること を決める。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 明日、ギロくに謝ろう。 ・ みんなと仲良くしたいな。 ・ これからは素直な気持ちでい よう。 	◎謝ろうと決めたコロはどんな気 持ちになったでしょう。
㉒72L～73L コロが澄んだ声で歌う。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 清々しいな。 ・ すっきりしたな。 ・ いい気もちだな。 	

4 年間指導計画における位置付け

- ・ 第2学年1月...主題名「正直な心」 教材名「ねこがわらった時」
うそやごまかしをしないで、正直に明るく生活しようとする心情を育てる。正直さの中でも、うそ偽りなく、心がけが正しいことの大切さについて学習した。
- ・ 第2学年2月（本時）...主題名「すなおな気持ちで」 教材名「お月さまとコロ」
コロの気持ちの変化を考えるを通して、素直な気持ちで生活しようとする心情を育てる。中でも、自分の気持ちに素直であることの大切さについて学習したい。

5 教師の願い

教材に自己を投影し、友達との対話を通して自分を見つめ、これからの自分の在り方を考えてほしい。

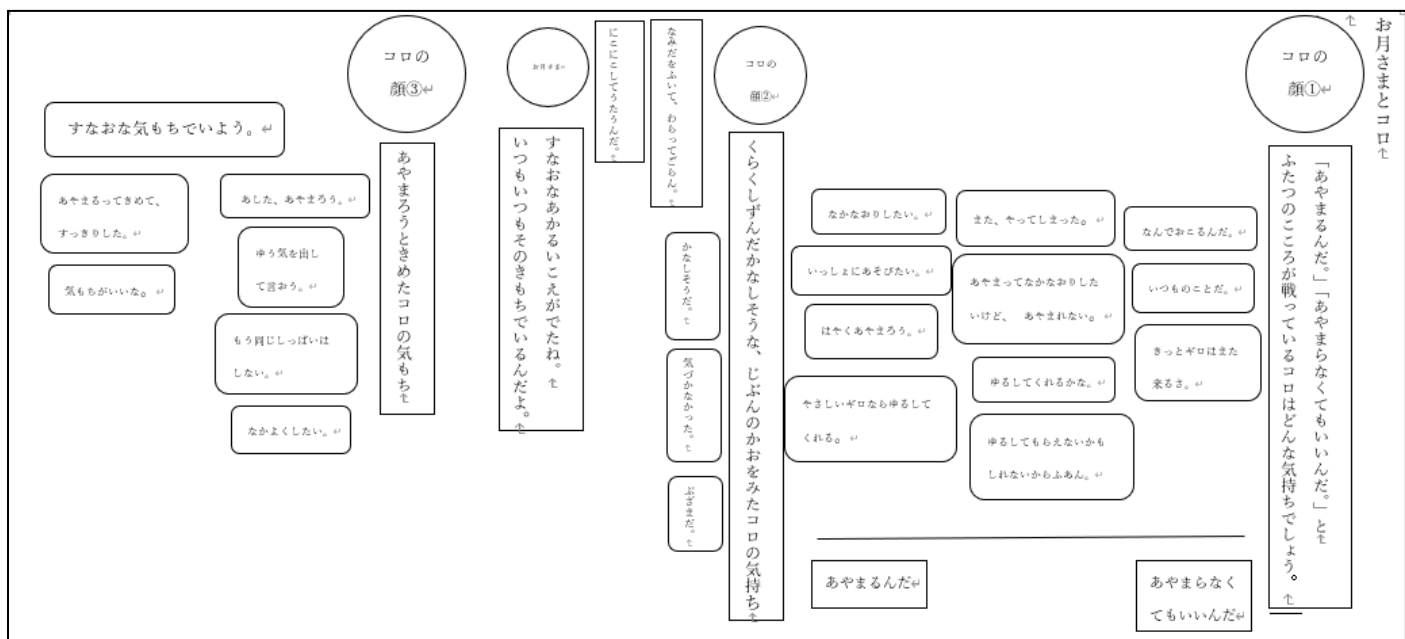


6 学習指導過程

時間	主な学習活動 ○主な発問 ・ 予想される児童の反応	・ 指導上の留意点等 ◎評価の視点（評価方法）
導入 3分	1. 本時の主題についての意識付けを行う。 (1)アンケート結果をもとに、素直な気持ちで行動できた経験とそうできなかった経験を想起する。 (2)教師の説話を聞く	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教材の登場人物の心情に共感しやすいよう、コロと似た経験について調べたアンケート結果を提示する。 ・ 教師が小学生だった頃、友達から遊びに誘われたのに素直になれず、「つまらないから遊ばない」と言ってしまって後悔した経験を話す。

<p>展開 35分</p>	<p>2. 教材「お月さまとコロ」を視聴して話し合う。</p> <p>○「あやまるんだ」「あやまらなくてもいいんだ。」とふたつの心が戦っている時のコロを役割演技しましょう。</p> <p>○あやまって仲直りしたい。 ○本当はギロと仲良くしたい。 △許してくれるかな。 △自分から謝るなんてできない。 △何であのくらいで怒るのだよ。 △きっとギロはまた来るだろう。</p> <p>○ 暗く沈んだ悲しそうな自分の顔を見てコロはどう思ったでしょう。 ・ぼくはこんなに悲しかったのか。 ・今まで自分の気持ちに気付かなかった。</p> <p>◎ 謝ろうと決めたコロはどんな気持ちになったでしょう。 ・謝ろうと決めてスッキリした。 ・もう同じ失敗はしない。 ・勇気を出して謝ろう。 ・みんなと仲良くしたいな。 ・これからは素直な気持ちでいよう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 紙芝居で教材提示を行う。 登場人物を紹介し、コロの気持ちを考ながら視聴するよう指示する。 役割が分るように絵カードを持って行わせる。 素直になれないコロの気持ちを多面的・多角的に考えられるよう、2対2で役割演技をさせる。 「あやまるんだと思うコロ」と「あやまらなくてもいいんだと思うコロ」が交互に役割演技をするよう指示する。 両方の気持ちを考えることができるよう役割交代を行う。 役割演技をしている間に聞き取った児童の発言を板書していく。 コロが自分の気持ちに素直になれず暗く沈んだ表情になってしまっていることを絵カードを用いて確認する。 自分の気持ちに素直になると決めたことで、心が晴れ晴れとしたことを絵カードを用いて確認する。 ◎コロの気持ちの変化が分かり、素直な気持ちでいることよさを感している。(発言)
<p>終末 7分</p>	<p>3. 自分自身を振り返り、ワークシートに記入する。</p> <p>○今まで素直な気持ちで行動できてよかったなと思ったことはありますか。また、素直な気持ちで行動すればよかったなと思ったことはありますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> 素直に謝ったから仲直りできてよかった。 勇気を出して言ったらスッキリしてよかった。 やっぱり素直になるのは難しい。 素直に謝ればよかった。 素直に友達と遊びたいと言えば、もっと楽しくなると思った。 これからは素直な気持ちで行動したいと思った。 	<ul style="list-style-type: none"> 今までの自分を振り返り、自己を見つめる場を設定する。 謝る、謝らないだけではなく、素直な気持ちで行動することに着目できるよう個別に支援をする。 ◎素直な気持ちで生活することについて、自分の経験や感じ方と関係付けて考えている。(ワークシート)

7 板書計画



8 ワークシート

お月さまとコロ	名前 ()
1. すなおな気持ちで行どうしたとき	
<input type="text"/>	<p>「お月さまとコロ」を 学しゅうして</p> <ul style="list-style-type: none">・すなおな気持ちで行どうきてよかったなと思ったこと・すなおな気持ちで行どうすればよかったなと思ったこと <hr/> <hr/>
2. すなおな気持ちになれなかったとき	
<input type="text"/>	